

「市政 ここが聞きたい」

一般質問

一般質問とは
質問内容
発言時間

議員が執行機関に対し、市政運営全般に対して行う質問です。
議案とは関係なく議員が決めて、事前に通告しています。
質問と答弁を合わせて、一人 60 分です。



令和8年6月
定例会の概要

定例会審議結果

議案等質疑

常任委員会の
審査報告

一般質問

委員会
活動レポート

議会報告会開催報告

1	野中 宣明 (公明党)	○高齢者等世帯に対するごみ出し支援について ▶ 将来の佐賀市のまちづくりについて
2	岡山 香織 (自民市政会)	○市民の健康増進について ▶ 地域の安全・安心を守る水害対策について
3	徳永 文子 (ネットワーク佐賀)	○学校給食について ▶ 大規模改修中の市立図書館の運営について
4	重松 徹 (自民清流)	○「32 の地域力がつくるこれからの佐賀市」 まちづくり協議会について
5	草場 健次 (ネットワーク佐賀)	○物価高騰及び石油由来製品の供給不安に 対する市の対応について
6	山本 愛 (日本共産党)	○予防医療の推進と健康格差の解消について
7	宮崎 健 (自民さが)	○文化財保護について ▶ 松原川について ▶ 第 55 回佐賀城下米の国まつりについて
8	山田 宏一郎 (自民市政会)	○有明海沿岸の堤防及び周辺環境の整備に ついて
9	江口 由里子 (ネットワーク佐賀)	○学校給食について
10	山田 誠一郎 (ネットワーク佐賀)	○佐賀市のごみについて ▶ 佐賀市在住外国人との共生について ▶ 佐賀市職員の働きやすい職場環境及び電話・ 窓口対応について
11	中尾 和幸 (自民さが)	○漁港における漂着ごみについて
12	藤田 佳典 (ネットワーク佐賀)	○防犯カメラの設置について ▶ 消防水利の維持管理について ▶ 情報セキュリティ体制について
13	藤井 英貴 (自民市政会)	○知的財産とブランディングについて ▶ 2026 佐賀インターナショナルバルーン フェスタについて
14	南里 朱美 (STEP-UP FOR SAGA)	○包括的性教育について ▶ 児童・生徒の心の健康管理について
15	山口 弘展 (自民市政会)	○ナフサ調達難に伴う公共工事への影響について ▶ 市街化調整区域における建築制限と課題に ついて ▶ 定年前退職者の推移とその要因、対応策等 について

16	千綿 正明 (自民さが)	○小・中学校の平和教育について ▶ 生成 AI の進歩による佐賀市への影響と 対策について ▶ 佐賀市の職員採用について
17	諸富 八千代 (自民市政会)	○ひとり親家庭の支援について ▶ 本市のDX推進について
18	山下 勝也 (参政党)	○交通事故・交通違反の現状と今後について ▶ 特別支援学級について
19	中島 妙子 (公明党)	○若者に対する支援について ▶ マイボトル等を利用できる給水スポットの 設置について
20	西岡 真一 (自民清流)	○農業用ため池について
21	稲葉 高広 (自民さが)	○さが桜マラソン 2026 の振り返りについて ▶ 上下水道の管路管理について ▶ 保育士の確保・定着支援について ▶ 本市のナイトタイムエコノミーについて
22	川崎 健二 (自民さが)	○佐賀市のごみの収集と処理について ▶ 佐賀市学校教育ビジョンについて ▶ 河川整備と水害対策について
23	御厨 洋行 (自民清流)	○神野公園再整備及び周辺エリアとの連携に ついて ▶ 公民館の広報について
24	山下 明子 (市民共同)	○佐賀市立図書館の大規模改修工事期間における 図書館サービスの確保策について ▶ ナフサ不足など中東情勢による市民・事業 者への影響の認識と市の支援策は ▶ こども性暴力防止法（日本版 D B S ）の 12 月 25 日施行に向けての対応を問う
25	吉川 正剛 (公明党)	○避難行動要支援者支援事業について ▶ 「救命の連鎖」について
26	村岡 卓 (公明党)	○不登校対策について ▶ 居住支援について
27	平原 嘉徳 (自民清流)	○巨石パークの現状と今後の活性化について ▶ 本市の教員不足について ▶ 佐賀の七賢人・大木喬任の歴史的偉業と 後世への伝承について
28	山崎 純 (自民市政会)	○災害時における避難情報へのアクセス確保 について
29	黒田 利人 (自民市政会)	○島義勇公の功績をたたえる施策について ▶ 坂井副市長に問う

番号は質問順、() 内は会派等、掲載は大項目のみです。
○がついている項目は、次ページ以降に詳細を掲載しています。



ごみ出し困難な世帯へ新たな支援を

(公明党)
の なか
野中 宣明



1



ごみ出しが困難な高齢者等のための「戸別収集」を！

問 ごみ出しが困難な高齢者等世帯に対する新たな支援としての「戸別収集」に向けて、今後どのように取り組まれるのか。課題に対する関係部署間の連携や、実施に向けたスケジュールを含めた市の考えを問う。

答 ごみ出し支援事業の実施には、収集体制や対象者の要件に加え、安否確認の在り方やオートロック式の集合住宅における収集方法など検討すべき課題があるが、高齢化の進展に伴い、ごみ出しに困難を抱える高齢者の増加が見込まれるため、ごみ出し支援事業の必要性は高まっていると考えている。そのため、引き続き関係部署と連携を図りながら、課題の整理検討を進め、できるだけ早期の事業実施に向けて取り組んでいきたい。



市の行政職に「歯科衛生士」採用を！

(自民党)
お か や ま
岡山 香織



2



忙しい今こそ、歯周病予防を！

問 市の母子・成人・高齢者への口腔ケア支援は現在、委託に頼っている。しかし、市民の健康寿命延伸と医療費抑制には一貫した対策が不可欠である。市独自の公衆衛生を強化し、切れ目のない支援を行うために、行政職への「歯科衛生士」採用を求める。

答 フッ化物洗口の推進や歯周病検診の周知、オーラルフレイル予防の普及啓発といった本市におけるライフステージに応じた歯科保健事業については、佐賀市歯科医師会や佐賀県歯科衛生士会と連携しながら実施している。一方で家庭環境や食生活など、生活習慣が口腔の健康に与える影響は少なくないことから、職種連携による支援の充実が求められる状況もある。歯科衛生士の配置については、任用形態や専門性を生かした多種連携などについて、必要性も含めて研究したい。



すべての学校で給食の質の維持を！

(ネットワーク佐賀)
と く な が
徳永 文子



3



老朽化により傾きかけている検収室

問 ①適正な調理員の人員体制と、技能や安全管理についてのスキルアップの機会が設けられているか②給食施設の老朽化対策やパントリーの空調整備の設置検討など、設備の更新や施設の改修を計画的に進めるべきではないか。

答 ①調理員に急な休暇等が生じた場合には代替の調理員を配置するなど、給食提供に支障が出ない対応ができる体制を取っている。また、安全性の確保と調理技術の向上を図るため、講習会等を実施し、資質向上に取り組んでいる②設備の更新や施設の改修については、老朽化の状況や安全性、給食提供への影響等を踏まえ、緊急性などを考慮しながら進めている。今後も安全安心な学校給食を安定的に提供できるよう、施設や設備の適切な維持管理と必要な整備に取り組んでいく。

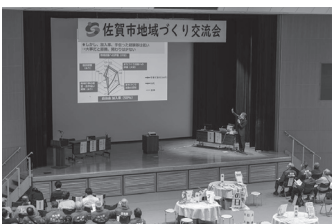


まちづくり協議会、今後の課題は

(自民清流)
しげまつ
重松 徹



4



地域づくり交流会・まち協情報交換会の様子

問 「まち協」をテーマとした市民と議員との意見交換会で、市民より「まち協」は地域ごとであり、その活動が「まち協」間で共有されていないとの意見があった。そこで設立15周年を記念し、各校区の好事例を集めた「活動事例集」を作成し周知すべきではないか。

答 本市では毎年「まち協」や市民活動団体、企業、大学などが交流を行う「地域づくり交流会」を開催し、その際に活動事例を紹介する冊子を作成、配布している。また、各校区の悩みや取り組み内容を共有する「まち協情報交換会」を開催しており、ここでの発表事例をまとめた事例集も各「まち協」へ配布している。この他、活動内容などをまとめたリーフレットを作成し、市の施設に設置している。議員提案の活動事例集についても、作成を進めていきたい。



物価高騰と石油由来製品不安の対応

(ネットワーク佐賀)
くさば けんじ
草場 健次

5

値上げ



「物価高騰」と「石油由来製品供給不安」の二重苦

問 物価高騰によるエネルギー価格等の上昇が市民生活や地域経済に一定の影響を与えている状況を踏まえ、昨年度末から水道料金の免除、プレミアム付き地域振興券の発行等、市民生活を支える取り組みを実施している。また、医療・福祉施設への応援金支給等の事業者支援も展開している。中東情勢を受け、対策会議の開催や事業者等への影響を把握するための実態調査を実施し、市民生活や地域経済への影響等の現況について協議し、必要な支援の在り方について検討を進めている。

答 物価高騰によるエネルギー価格等の上昇が市民生活や地域経済に一定の影響を与えている状況を踏まえ、昨年度末から水道料金の免除、プレミアム付き地域振興券の発行等、市民生活を支える取り組みを実施している。また、医療・福祉施設への応援金支給等の事業者支援も展開している。中東情勢を受け、対策会議の開催や事業者等への影響を把握するための実態調査を実施し、市民生活や地域経済への影響等の現況について協議し、必要な支援の在り方について検討を進めている。

問 佐賀市においても物価高騰と石油由来製品の供給不安は、市民生活と地域産業に大きな影響を及ぼしている。家計負担と事業継続への影響を市として迅速かつ的確に把握した上で、必要な支援を検討・実施すべきではないか。

答 佐賀市においても物価高騰と石油由来製品の供給不安は、市民生活と地域産業に大きな影響を及ぼしている。家計負担と事業継続への影響を市として迅速かつ的確に把握した上で、必要な支援を検討・実施すべきではないか。



令和8年6月
定例会の概要

定例会審議結果

議案等質疑

常任委員会の
審査報告

一般質問

委員会
活動リポート

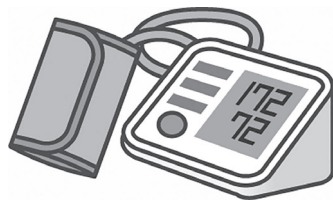
議会報告会開催報告



生活保護受給者の受診勧奨を！

(日本共産党)
やまもと あい
山本 愛

6



健康診査の受診促進を

問 生活保護受給者の中には、生活習慣病のリスクが高いにもかかわらず、十分な健康管理につなげていない方もおられる。「健康診査を受けたいが制度や申込方法が分からない」との声も伺った。周知や受診勧奨を含め、受診者を増やす取り組みについて伺う。

答 対象者へのチラシ配布や電話・窓口での直接勧奨など、周知に力を入れている。また、生活保護費の支給日には、窓口での血圧測定等を促し、その結果に応じて病院受診や健康診査受診を働きかける取り組みを始めた。さらに、常時健診に関する情報を市ホームページから入手できるように、情報の充実を図りたいと考えている。引き続き、生活保護受給者への健康管理の支援を通じて、健康の保持・増進と日常生活の自立や就労、生活機能の維持向上に取り組んでいきたい。

問 生活保護受給者の中には、生活習慣病のリスクが高いにもかかわらず、十分な健康管理につなげていない方もおられる。「健康診査を受けたいが制度や申込方法が分からない」との声も伺った。周知や受診勧奨を含め、受診者を増やす取り組みについて伺う。

答 対象者へのチラシ配布や電話・窓口での直接勧奨など、周知に力を入れている。また、生活保護費の支給日には、窓口での血圧測定等を促し、その結果に応じて病院受診や健康診査受診を働きかける取り組みを始めた。さらに、常時健診に関する情報を市ホームページから入手できるように、情報の充実を図りたいと考えている。引き続き、生活保護受給者への健康管理の支援を通じて、健康の保持・増進と日常生活の自立や就労、生活機能の維持向上に取り組んでいきたい。



建造物の文化財をしっかり守ろう

(自民さが)
みやざき たけし
宮崎 健

7



本市にはたくさんの文化財やそれに見合うものがあります

問 ①本市において建造物の文化財指定がこのところあつていないようだが見解は②ヘリテージマネージャーの活用を積極的に行うべきと考えるが市の見解は③歴史的建造物の利用促進に向けた建築基準に関する取り組み方針に基づき、独自条例を制定すべきだが。

答 ①歴史的建造物などは、調査をはじめ、文化財的な価値づけに至るまで、専門家に協力を求め、意見を伺いながら進める必要がある②歴史的建造物というのは後世に残していく必要があり、今後も適切な保存活用に努めたい③独自条例は、歴史的・文化的価値のある建築物の保存と活用を図る上で有効な手法の一つである。関連部署と連携を図り、専門人材の確保や、制度運用における問題点等の確認、整理を行い、先進事例も参考に、本市に適した制度の在り方を研究していく。

問 ①本市において建造物の文化財指定がこのところあつていないようだが見解は②ヘリテージマネージャーの活用を積極的に行うべきと考えるが市の見解は③歴史的建造物の利用促進に向けた建築基準に関する取り組み方針に基づき、独自条例を制定すべきだが。

答 ①歴史的建造物などは、調査をはじめ、文化財的な価値づけに至るまで、専門家に協力を求め、意見を伺いながら進める必要がある②歴史的建造物というのは後世に残していく必要があり、今後も適切な保存活用に努めたい③独自条例は、歴史的・文化的価値のある建築物の保存と活用を図る上で有効な手法の一つである。関連部署と連携を図り、専門人材の確保や、制度運用における問題点等の確認、整理を行い、先進事例も参考に、本市に適した制度の在り方を研究していく。



有明海沿岸の堤防や周辺環境の整備

(自民市政会)
やまだ こういちろう
山田 宏一郎

8



堤防や排水機場、水草など有明海周辺環境の課題は多い

問 ①有明海沿岸の堤防の劣化や破損など、市は把握しているか、またその対策は②排水機場の問題の把握や対応は③水路に繁茂する特定外来種以外の水草への対策は。

答 ①職員が現場を通る際の状況確認に加え、毎年7月に久保田地区で県・市・住民による合同パトロールを行い、損傷等を確認した場合は、県へ報告している②日常・年次の各種点検や出水期前の試運転により、不具合を早期に把握し、軽微な段階での補修や復旧を図るほか、大規模改修が必要な場合は国・県の事業において工事を実施③重要な樋門前などの水路では、水草除去を実施。また、地元主体の河川清掃に対して重機の貸し出しを行うなど、地域の実情に応じ取り組んでいる。

問 ①有明海沿岸の堤防の劣化や破損など、市は把握しているか、またその対策は②排水機場の問題の把握や対応は③水路に繁茂する特定外来種以外の水草への対策は。

答 ①職員が現場を通る際の状況確認に加え、毎年7月に久保田地区で県・市・住民による合同パトロールを行い、損傷等を確認した場合は、県へ報告している②日常・年次の各種点検や出水期前の試運転により、不具合を早期に把握し、軽微な段階での補修や復旧を図るほか、大規模改修が必要な場合は国・県の事業において工事を実施③重要な樋門前などの水路では、水草除去を実施。また、地元主体の河川清掃に対して重機の貸し出しを行うなど、地域の実情に応じ取り組んでいる。



※1 ヘリテージマネージャー…地域に眠る歴史的建造物を調査・研究し、地域づくりに生かしながら保全・活用を進める提案を行う人材



川副学校給食センター火災を受けて

(ネットワーク佐賀)
江口 由里子

9



問 2月25日、川副学校給食センター調理室より火災発生。①事故原因は②これまでの委託業者に対する安全指導に問題があったと思うが市の見解は③施設復旧までの3カ月間、他の施設から給食が提供されたが、どのような調整をしたのか④再発防止策は。

答 ①定められた作業工程が徹底されていなかったこと、加熱方法や火災リスクについての調理員の認識が不十分だったこと、揚げ物調理を推奨しない回転釜で調理を行ったことが原因と考える②業務仕様書に基づき行ってきたが、安全管理の認識共有をさらに徹底する③人員確保や配送方法の協議、アレルギー対応の連絡調整を実施④作業工程や安全意識向上の指導、調理機器の更新、巡回指導、給食施設の火災予防講習、これらを実施し安全、安心な学校給食の提供に努めていく。



調理室から立ち上る黒煙

令和8年6月
定例会の概要

定例会審議結果

議案等質疑

常任委員会の
審査報告

一般質問

委員会
活動レポート

議会報告会開催報告



ごみ政策の基本的な方針は？

(ネットワーク佐賀)
やまだ せいいちろう
山田 誠一郎

10



問 ①在住外国人のごみ出しの対策は②その効果は③ごみ出しの時間帯は④前日の夜に出せるようにしては⑤ごみの減量、リサイクルを啓発するための活動は⑥エコプラザの現状は。

答 ①9カ国語対応ガイドの配布や解説動画等のHP掲載、出前講座等②ごみ出し状況の改善事例あり③収集日の午前8時30分迄④ルールの変更は難しいが、自治会などの管理者と調整していただければ⑤ごみカレンダー等の配布やスーパリアプリ配信、多様な媒体での情報発信や出前講座、ごみ処理見学やエコプラザでの講座等を開催⑥令和7年度の総来場者数4万6904人、講座・イベント183回開催。今後も環境学習の充実を図り循環型社会実現への取り組みを推進する。



「リサイクル工場2階」では分別処理の見学ができます



漁港における漂着ごみの対策は

(自民さが)
なか お かずゆき
中尾 和幸

11



問 ①漁港における漂着ごみの対策として、状況をどのような方法で認識し、把握しているのか②財源確保が欠かせないと思うが、国・県との協議は③上流域の自治体との連携・協議は④回収業務について、1業者だけではなく複数業者との契約はできないのか。

答 ①漁港管理者として職員が定期的に巡視しており、大雨や台風の後などは通常時よりも注意している。また、漁業者や漁協からの情報提供もある②国や県の補助事業を活用しているが、対応が困難な場合は既決予算の流用や予備費で対応している③筑後川および嘉瀬川は、それぞれの流域の関係機関による協議会で情報共有をしているが、流域が広範囲でごみの発生源の特定が難しい④漂着ごみの量や作業内容などで1業者で対応が難しい場合は、複数業者での対応を検討したい。



筑後川下流に位置する漁港周辺の漂着ごみ（川副町）



全体の防犯力・防犯網の強化を

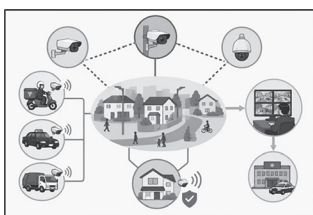
(ネットワーク佐賀)
ふじ た よしのり
藤田 佳典

12



問 防犯カメラの設置と地域防犯力の強化について①防犯カメラ設置補助事業の活用実績は②住宅街の防犯対策強化について市の見解は③AI技術を活用した防犯カメラや防犯灯一体型カメラの設置の検討は④動く防犯カメラの検討は⑤さらなる補助制度の拡充を。

答 ①直近3年間の申請件数は28件②警察や地域関係団体と連携し啓発活動を継続するとともに防犯灯や防犯カメラ等による防犯環境の充実に努める③防犯機能の向上が期待されるが、導入費用や個人情報保護への配慮等の課題もある④移動する車両による線の見守りは固定式防犯カメラによる点の見守りを補完し防犯対策上有効な手法である。情報収集とともに活用の可能性を検討する⑤自治会等への制度周知を図るとともに、効果的な防犯対策を進める。



地域全体の防犯網のイメージ



知的財産・ブランディングの戦略は

(自民市政会)
ふじい ひでき
藤井 英貴

13



いろいろあるよ!! 知的財産

問 無形財産として知的財産戦略は重要である。①経済振興の中で市内事業者への知的財産の取得やブランド価値向上に向けた支援は②本市自体の新規事業等から生じる成果の権利化を逃さないため、知的財産を横断的に所管する専門部署の設置が必要ではないか。

答 ①本市では産業支援相談室で知的財産に関する相談対応を行う他、補助金により知的財産の取得やブランド力向上などの取り組みを支援している。今後も関係機関と連携し支援していきたい②特許庁所管の専門的な相談窓口が市内にあることから、現在、役所内に専門部署は設けてない。しかし、大変重要と考えているので、まずは政策推進部で知的財産権の周知啓発等に努めている。有効と考えられる知的財産権の取得を積極的に検討するよう、意識の醸成を図っていきたい。



日本の性教育、今のままで大丈夫？

(STEP-UP FOR SAGA)
なんり あけみ
南里 朱美

14



心と体を尊重する関係を学ぶ

問 ①小・中学校では、同意や境界線、嫌なことは嫌と思わせることを、どのような学びで扱っているのか②宮崎市の事例も参考に、性に関する学びを発達段階や内容ごとに整理し、調査研究する必要があると考え、市の見解を伺う。

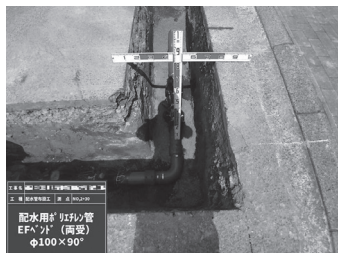
答 ①保健体育、特別活動、道徳教育、情報モラル教育などを通して、自分や相手を尊重し、適切な人間関係を築く力を発達段階に応じて育んでいる。また、養護教諭などと連携し、児童・生徒が相談しやすい体制づくりにも努めている。保護者による見守りも大切であると考えており、家庭と学校が協力して指導に取り組むことが重要である②包括的性教育の重要性は認識している。宮崎市の取り組みについては各学校と情報を共有し、学校の実情に応じて活用するよう内容を紹介したい。



ナフサ調達難、水道工事への影響は

(自民市政会)
やまぐち ひろのぶ
山口 弘展

15



工事で使用するナフサが原料となる水道用ポリエチレン管

問 中東情勢混乱に伴うナフサの調達難が継続し、水道管の価格が高騰、一部で品薄状態となっている。①現状、佐賀市において影響は②今後の工事発注の見通しは③工事発注後さらなる高騰が予測される。契約金額や工期等設計変更は臨機応変に対応すべきでは。

答 ①現在、ナフサ由来のポリエチレン管を含む材料等の調達については、大きな影響は生じていないが、引き続き市場の動向を注視していく②発注の延期等は考えていない。資材価格の変動を踏まえ、適正な積算に基づく設計や工期の設定に努め、管路更新工事など、必要な事業を進めていきたい③関係事業者に対して、受注者が物価の変動に基づく請負代金の変更を請求できる制度があることを十分に周知し、必要に応じて工期延期等の協議を受注者と密に行っていく。



小・中学校の平和教育について問う

(自民さが)
ちわた まさあき
千綿 正明

16



転覆した抗議船

問 文部科学省が教育基本法第14条第2項に違反すると初めて認定した、沖縄辺野古基地での事業を踏まえ、佐賀市立小・中学校における平和教育の現状と安全管理など、課題について問う。

答 小・中学校における平和教育として、小学校は長崎、中学校は長崎や南九州、広島等を訪問し、現地学習を行っている。修学旅行や校外学習における安全管理については、複数の旅行業者から見積もりを徴取後、事前に十分に確認し、必要に応じて下見を実施している。また、政治的中立性については、今回の事故を受け、改めて校長会等を通じて注意喚起を行っていく。国や県の動向に十分留意しながら、必要に応じて適切に対応していく。

令和8年6月
定例会の概要

定例会審議結果

議案等質疑

常任委員会の
審査報告

一般質問

委員会
活動リポート

議会報告会開催報告



ひとり親家庭の支援の充実を！

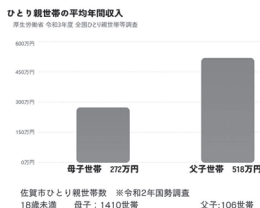
(自民市政会)
もろどみ やちよ
諸富 八千代

17



問 佐賀市のひとり親世帯数は、母子1410世帯、父子106世帯（R2国勢調査）であり、母子世帯の年収は父子世帯の約半分である。①子育て・生活支援は②就学支援は③養育費確保等支援は④経済的支援は⑤子の体験格差解消に塾代・習い事支援事業の検討を。

答 ①子育てしやすい環境づくりのため、ショートステイ等子育て支援サービスの利用を促進②就職に有利な資格取得講座の受講料の助成や、養成機関就学時の給付金の支給③養育費確保推進のため、公正証書作成経費の助成や、弁護士による法律相談の実施④児童扶養手当の支給や医療費の助成⑤体験格差は、経済的要因だけで生じるものではなく、全ての子どもに関わる課題と捉えており、習い事への助成も含めて先進自治体の取り組みを調査研究し、格差が縮まるよう検討していく。



令和3年度全国ひとり親世帯等調査による平均年間収入

令和8年6月
定例会の概要

定例会審議結果

議案等質疑

常任委員会の
審査報告

一般質問

委員会
活動レポート

議会報告会開催報告



交通安全対策を問う

(参政党)
やました かつや
山下 勝也

18



問 ①直近3年間の市内の人身交通事故発生状況は②人身交通事故の多発場所は③交通死亡事故の傾向・原因の分析は④高齢者への交通安全対策は⑤自転車の青切符制度導入を踏まえた取り組みは⑥外国人に対する交通安全教育の取り組みは。

答 ①令和5年1138件、6年963件、7年866件
②令和7年は佐大南交差点および佐賀北警察署前交差点でいずれも6件③高齢者が被害者となる割合が高く、特に横断歩道のない場所を横断中の事故が多い④高齢者交通安全指導者による指導や啓発、職員による出前講座等を継続的に実施⑤警察等と連携し啓発活動等を実施⑥佐賀市交通安全計画に外国人への交通安全教育を位置付けている。今後関係機関等と連携し、交通安全教育の充実等を図り、交通事故防止に取り組む。



自転車運転中のスマートフォンなどの使用は大変危険です



奨学金返還支援の充実を！

(公明党)
なかしま たえこ
中島 妙子

19



問 昨年度導入された奨学金返還支援制度は想定を上回る利用があった。今後は、若者の実態に合った制度となるよう検証が必要と考える。①本制度の執行状況は②非正規雇用など経済的に不安定な若者への支援についてどう考えるか③今後の取り組みは。

答 ①昨年度の交付件数は102件で、金額は837万5千円②非正規雇用には多様な形態があり、一律に制度の対象とはし難い。相談内容に応じ、適切な制度につながるよう情報を提供していく③支給対象者へのアンケートや若者の声、実態を踏まえ、本制度の効果を検証しながら必要に応じて要件の在り方を検討するなど、利用しやすい制度となるよう工夫を重ねる。若者の経済的負担の軽減を図り、本市で安心して暮らし、希望するライフコースを選択できる環境づくりを進める。



奨学金返還支援制度は若者の未来を後押しします！



開発に伴う内水氾濫対策を

(自民清流)
にしおか しんいち
西岡 真一

20



問 ため池には雨水調節機能も期待できるが、一方で、豪雨時にため池から道路冠水等が起きることもある。上流の宅地開発等が要因ではないかと思うが、市からは調整池設置の指導のほか、雨水対策等について、開発業者に對し何か指導や助言等は行われているか。

答 周辺地域や下流域の浸水被害を軽減するため、都市計画法等に基づき、1ヘクタール以上の開発を行う事業者に対しては、雨水を一時貯留する調整池の設置を指導し、開発地が水路に面する場合は、宅地保全のため水路側への擁壁設置等を指導している。開発地からの雨水流の抑制、軽減については、今後も必要に応じた事業者への指導・助言を継続するとともに、調整池の設置基準（1ヘクタール以上）の規制強化の必要性については、他市の状況を踏まえながら検討中である。



ため池から内水氾濫（冠水）が起きることもある



さが桜マラソンの経済効果は

(自民さが)
いなば 稲葉 高広



21



さが桜マラソンを市内経済に生かそう！

問 1万人以上が参加するさが桜マラソンは飲食や宿泊、お土産と多くの消費を呼び込むイベントである。県外のマラソン大会の中には、学術機関と連携し、その経済効果の分析を行い、経済効果の最大化に取り組んでいる。本市も取り組むべきでは。

答 ランナーアンケートを活用し、ランナーの大会前後の行動や消費動向を把握できれば、まちのにぎわい創出や消費拡大につながると考える。大学との連携について、アンケート項目の検討、調査内容の分析だけでなく、大会運営や大会の盛り上げについても協力していただけるよう相談したい。また、得られた分析結果は、交流人口の拡大や地域経済の振興に向けた取り組みにも生かしていけると考える。

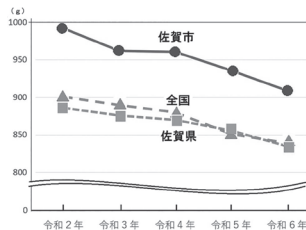


佐賀市のごみの収集と処理の状況は

(自民さが)
かわさき 川崎 健二



22



1人一日あたりのごみの排出量 (国、県、市)

問 ①過去5年間の佐賀市のごみの排出量の推移は②佐賀市のごみが多い理由は何か③現在のどのような理由でのごみの減量を図っているのか④携帯やスマホ、パソコン、リチウムイオン電池などの回収はどのようにしているのか⑤回収後の処理はどうしているか。

答 ①令和2年度約8万4千トから令和6年度約7万5千トと約11%減少②商業施設や事業所等の事業ごみが比較的多い③生ごみ減量の啓発や集団回収への参加推進、使用済プラスチックの拠点回収実施等④携帯やスマホは本庁舎等11カ所で随時回収。パソコンは国の認定事業者等の無料回収や清掃工場等への直接搬入。リチウムイオン電池は「燃えないごみの日」に透明・半透明の袋で「ごみステーション」へ排出⑤手作業で選別してリサイクル業者へ引き渡し、適正に処理して再資源化。



神野公園の未来図を問う

(自民清流)
みくりや 御厨 洋行



23



こども遊園地のメインゲートはどこだろう

問 ①今後の整備スケジュールは②パークPFIの対象範囲を芝生広場のみとした経緯は③具体的にどのような施設やサービスが可能なのか④市民の要望が多いドッグラン整備は公募の対象となるか⑤駐車場の安全かつ円滑な動線確保をどのように整備していくのか。

答 ①令和10年3月の全国都市緑化フェアを見据え、パークPFIによる事業者の公募や全体の実施設計を行い、今年度後半にはトンボ池の改修工事に着手する②事前調査の結果、当該エリアでの事業参加の可能性が高かったため③公募では体験学習施設や動植物園等の教養施設、カフェやレストラン等の便益施設を可能としている④教養施設または便益施設に該当し、公募ではそれらを含め多種多様な提案を期待している⑤再整備に合わせて分かりやすい誘導案内板の整備を検討したい。



図書館休館対応策に市民参加を

(市民共同)
やました あきこ 山下 明子



24



本館利用者にとって約2年の休館は困惑

問 「図書館大規模改修中に約2年間休館」という方針を多くの市民が知らないし、議論も不足している。休館期間や対応策を「決めてから知らせる」のではなく、本館の利用者に休館方針を知らせ、意見を聞きながら必要な対応策を検討すべきでは。

答 本館内に休館予告を含めた大規模改修の概要を掲示し周知を図っている。市民有志からの申し入れ等、今回いただいた市民の声は休館中のサービスを検討する上での参考とし、休館中も利用者の利便性の確保に努める。これまでも基本構想、基本計画、基本設計の検討に当たり市民の意見を伺いながら進めてきた。休館中のサービスを検討する上でも、市民の声を聞くことは重要であると認識している。休館中のサービスについても市民の意見を聞く機会について検討していく。



日頃のつながりが災害時の支えに

(公明党)
よしかわ せいこう
吉川 正剛

25



問 避難行動要支援者支援事業が災害時に機能するために①避難行動要支援者の把握方法は②避難支援情報を地域へ提供することと同意した外部提供同意者数が大きく増加した経緯は③個別避難計画作成における福祉専門職との連携は④取り組みの好事例の横展開は。

答 ①市が保有する介護保険の認定情報等から把握②外部提供同意と、身体の状態等を記載する個別避難計画を一体的に進めてきたが、外部提供同意への負担軽減のため、登録手続きを外部提供同意と個別避難計画に分けて実施した③本人や家族で作成するのが難しい場合は、福祉専門職との連携も有効と考えており、具体的な進め方を検討したい④民生委員や自治会の会議で取り組み事例を紹介してきたが、好事例を収集し事例集としてまとめ、校区を訪問する際等に情報共有を進める。



顔の見えるつながりが安心を生む

令和8年6月
定例会の概要

定例会審議結果

議案等質疑

常任委員会の
審査報告

一般質問

委員会
活動レポート

議会報告会開催報告



フリースクールとの連携強化を！

(公明党)
むらおか たかし
村岡 卓

26



問 市は不登校児童・生徒への対応として、自立を育む観点から伴走型の取り組みを進めている。①学校外の多様な学びの場や居場所としてのフリースクールの位置付けは②児童・生徒の状況をどのように把握しているか③支援資源と捉えるなら定例的に連携するべきでは。

答 ①学校や教育支援センターと並ぶ重要な学びの場、居場所であり、不登校児童・生徒を支える大切な支援資源と認識している②施設からの活動報告や学校職員、スクールソーシャルワーカー、サポート相談員による訪問等で状況を把握し、個別支援シートで情報共有している③今後は学校の支援会議に加え、市教育委員会が開催する不登校対策会議にも必要に応じてフリースクールの参加を求め、継続的な情報共有と連携を図り、児童・生徒一人一人に寄り添った支援の充実に努める。



多様な学びの場との連携で切れ目のない支援を実現



巨石パークの再整備による活性化を

(自民清流)
ひらばる よしのり
平原 嘉徳

27



問 巨石パークは、本市を代表する貴重な観光スポットであるが、老朽化などによりその魅力が発揮されていない。①近年の来場者の推移は②自然体験型観光ブームの中、ドッグラン併設のオートキャンプ場の整備を検討してはどうか③民間活力を生かすべきでは。

答 ①令和3年度と令和7年度を比較すると3396人減少している②ドッグランを併設したオートキャンプ場の整備は、地域の新たな魅力づくり等につながる可能性があるが、登山等利用者への影響や運営体制など多様な課題が想定されるため、まずは課題の整理や把握をするとともに、実現の可能性を検討していきたい③官民連携を進める手法については、多様なスキームが考えられるため、関係部署と連携し、まずは民間事業者の参入の可能性がある事業等の調査、研究を行いたい。



開園以来31年が経過。近年は、来場者が激減している



命を守る情報伝達の在り方を問う

(自民市政会)
やまさき じゅん
山崎 純

28



問 ①今回の市ホームページ改修において防災情報へのアクセシビリティが向上した原因と対応策は②地域防災計画に基づく避難誘導環境について、土地勘のない方を含めて誰もが避難できる環境づくりを進めることが重要であると考えますが、市の見解は。

答 ①原因として、検索サイトに古い情報が表示されてしまったことが挙げられる。対策として検索サイト側に對し、早期に最新状態へ切り替わるように促しを行った。今後は「防災」のページについても、自動で新しいページに切り替わる「リダイレクト設定」を追加し、使いやすいホームページを目指す②さまざまな媒体を通じて避難所の情報を発信するとともに、最新技術を積極的に導入し、多様な災害の状況に応じて、速やかに安全な場所へ移動できる環境を作っていく。



外出先でも避難所へ迷わないために



島義勇公の功績をたたえ交流を

(自民市政会)
くろだ としと
黒田 利人

29



城内西堀端に建立されている
北海道開拓の父、島義勇公像

問 北海道開拓の父である佐賀市出身の島義勇公の功績をたたえることを後世に語り伝えるための施策を常時的に年一、二回取り組み、多くの市民に広報するべきではないか。また、本市と札幌市の子どもたちとの交流を推進すべきではないか、市の考えを問う。

答 明治維新150年を契機に「肥前さが幕末維新博覧会」が全県的に開催され、本市も博覧会に先立ち、市重要文化財である日記を一般公開するなど、図書館で企画展や講演会を開催。令和7年には、県と連携しシンポジウムを開催。引き続き、功績を次世代へ継承する取り組みの検討を深めていく。また、今年2月に、本市と札幌市内の小学生がオンラインによる交流を行った。人的交流は大変意義深い、持続可能な形で交流を行うにはインターネット等の利用が有効であると考えている。

委員会活動レポート①

常任委員会や特別委員会などは、市民生活に深く関わる課題などについて、会期中以外にも調査、研究を行っています。最近の活動内容をご紹介します。

福祉生活委員会

行政視察

5月14日(木)

静岡県浜松市

- 老人福祉センター等の在り方の見直しについて

5月15日(金)

京都府京都市

- 大宮交通公園の取り組みについて



浜松市役所

教育環境委員会

行政視察

5月12日(火)

岐阜県山県市

- 山県方式（市立小中学校での授業や部活動の合同実施）について

5月13日(水)

愛知県岡崎市

- 岡崎さくら電力（エネルギーの地産地消）について



岡崎市役所

産業建設委員会

行政視察

5月26日(火)

茨城県常総市

- アグリサイエンスバレー事業（インターチェンジ周辺を活用した地域振興）について

5月27日(水)

埼玉県川口市

- 治水対策について



川口市役所

総務委員会

行政視察

5月19日(火)

大阪府大阪市

- いくのパークの取り組み（廃校跡地の活用）について

5月20日(水)

大阪府泉大津市

- シーパスパークの取り組み（市民会館跡地活用）について



いくのパーク
(大阪市)



シーパスパーク
(泉大津市)

委員会開催

6月4日(木)

- 佐賀県立大学（仮称）について

山口和範氏（佐賀県立大学（仮称）学長予定者）を参考人に招き、設立に係るこれまでの状況や、「まちづくり」の観点についての説明を受け、質疑応答を行いました。



委員会の様子

令和8年6月
定例会の概要

定例会審議結果

議案等質疑

常任委員会の
審査報告

一般質問

委員会
活動レポート

議会報告会開催報告